



6月定例市議会

たばたあずみ議員の一般質問

日本共産党のたばたあずみ議員は、6月議会の一般質問で(1)災害時の人権問題について (2) 中学校の教科書採択について (3)35人学級の実施について 質問しました。以下、質問の要旨を報告します。

アレルギー対応非常食の備蓄を

今回の震災で、食物アレルギーを持っている人がパンや麺を食べられず、たいへんだったと報道されました。また、アレルギーを持っているあかちゃんは、アレルギー対応ミルクがたよりです。普段はお母さんが除去食を食べ、母乳で過ごしているあかちゃんも、お母さんが除去食を食べられなければアレルギー除去の粉ミルクが必要になります。避難所で提供された食べ物が2次被害を生むことにならないよう、非常食と粉ミルクのアレルギー対応化を求めました。

市は、さまざまなアレルギーがあり、すべてには対応できないが、基本的なものの除去食は検討していくと答えました。また、アレルギー対応のミルクについても、関係機関やNPOなどと連携をとって、必要な人の手に渡るよう整備していくとしました。



ミルクを飲むあかちゃん

たばた議員は、避難所で不要な我慢を強いられることのないように、要望を申し出やすい配慮をするようお願いしました。

障がい者・高齢者・子連れ家庭の避難所は？

被災地では、環境が変わったためにパニックを起こしてしまう障がい者や、足が悪かったり、認知症がひどくなった高齢者、夜泣きの続く幼い子どもなどが、避難所にいらなくなっていると伝えられています。こうした特別な配慮が必要な人のための避難所について質問しました。

市は、一般の避難所に集まった後に設置する二次避難所として、ふれあいセンターなどを考えているほか、民間施設との協定も検討中と答弁。たばた議員は、二次避難所の条件として耐震・耐火・鉄筋構造・バリアフリーとなっていますが、バリアフリーが必要な方や個室が必要な方、広い場所が必要な方など、必要な条件はさまざまなため柔軟に検討を進めるべきと提案しました。

また、防災計画をよりよいものにするために、すべてのひとの人権を守るという原則のもと、いろいろな立場のひとたちの意見を聞くよう求めると、市は人権に配慮した対応を進めると答えました。

開かれた教科書採択を

あきる野市では今年7月26日に、中学校の教科書採択が行われます。よりよい採択が行われるためには、多くの教員や保護者に見てもらい、意見を聞くべきです。教科書の回覧・展示方法の改善を求め、質問をしました。

市は、公開の仕方は要項などで決まっている、学校で見切れない場合には専門委員の先生の分や一般公開を利用してほしいとし、採択後には図書館でも展示されると答えました。

たばた議員は、教育委員会などに意見を上げることができると訴え、展示場所や時間について改善を要望しました。



展示中の教科書。社会科は20冊も。

1年生35人学級見送り なぜ？

小学校1年生のクラス編成を35人までにできることを国が決めたのが4月22日。未実施だった1都7県中7県は、独自に4月1日から35人学級の実施に踏み切りましたが、東京都は見送り。そのため、決定後の連休明けに、都内75校で学級再編成が実施されましたが、あきる野市の該当2校では実施を見送ることに。この理由について質問しました。

市は、編成をし直した場合の影響などを該当する学校と協議した結果と答えましたが、教員や保護者の意見を聞いたのかとのたばた議員の質問に、校長と若干協議しただけだと答えざるを得ませんでした。

また、国や東京都に抗議や改善の要望を出す予定はどの質問に、市は出すつもりはないと答弁。決定の遅れに不満があるとしながらも、改善の要求すらない矛盾した対応です。たばた議員は、同じ市内・同じ1年生で38人の学級と21人の学級があることの不公平性や、「あと2人転校してきたら3学級になるのに」という、少人数の行き届いた教育を望む保護者の声を紹介し、実際の子どもたちをよく見てほしいと求めました。市は、学校訪問などで声は聞いていくと答えました。

法律相談

7月28日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。

被災地に送る喪服を集めています。

サイズ 季節は問いませんが、クリーニング済みのものに限りです。(締切7月29日)

東日本大震災 救援募金へのご協力ありがとうございます。

回にわたって行った街頭募金などで、これまでに日本共産党あきる野市委員会では40万円を超える救援募金が集まりました。日本共産党全体では4億円を超える募金が寄せられており、すでに3県42市町村に送ったほか、その後集まった分も今後被災地へと送ります。

ネギ4箱の提供がありました

市民の方から市議団に、被災地にネギを送りたいがどこで受け入れてくれるかわからなくて困っているとの相談を受け、急きょ日本共産党宮城県委員会に連絡を取りました。宮城県委員会では「まとまった量の食糧は大変ありがたい。必要としている地区や避難所に届けます。」とのことで、送料を市議団が負担して送りました。

後日、「無事届きました、ありがとうございます。」とお礼の電話がありました。

日本共産党宮城県委員会は被害の大きかった名取川にも近い仙台市若葉区にあり、日夜救援活動を行っています。

食糧など救援物資を送りたいという方は、まず連絡を取ったうえで送ってくださると助かります。

日本共産党宮城県委員会

電話 022 - 267 - 1511

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1 - 12 - 25

あきる野市の支援物資受け入れは一時中止に

東京都の支援物資受け入れに呼応して始まったあきる野市での支援物資受け入れは、物資受け入れ側の自治体がパンク状態になったため、一時中止になっています。特に日持ちのしない食品などは管理・保管がむずかしいため、受け入れることができないそうです。

受け入れ側の要望があり次第、募集を再開します。3月25日までに寄せられた物資は、市で保管して、必要とされ次第、必要な自治体に送る予定とのことです。

自治体レベルではむずかしい支援物資も、民間レベルではうまく循環させているところもあります。市議団は、市での受け入れが無理でも、せめてその窓口を紹介するよう要望しています。

支援の申し出続々

市議団には、ほかにもランドセルを送りたいなどの声が寄せられています。ランドセルは全国各地で取り組みがされており、呼びかけていた千葉の企業でも申し出の多さに一時受付を中止しているほどです。

今後、学用品など必要になることが予想されますので、その時々状況に応じて呼びかけを行っていく予

市から申し入れの回答がありました

計画停電について

4月・5月は原則として実施しないことになりましたが・・・

実施の場合でも拜島～青梅・奥多摩方面の電車を走らせるよう、西多摩広域行政圏として申し入れを行っています。あきる野市長も要望活動を実施しているとのことです。

医療機関・在宅での酸素吸入などの利用者については、厚生労働省の対応方針が出たので、その依頼により放送など行っています。メーカーからも顧客に対しての安否確認を行ったり、計画停電の連絡を入れているなどの情報が入っています。その他、保健所で把握している患者さんには、保健所からも連絡がされています。東京電力でも器具の貸し出し等の対応をしているようだとのことです。

原発問題について

あきる野市内の水道水は、8割～9割が多摩川水系の小作浄水場からひかれており、また、五日市地区は地下水から引かれています。このため、放射性物質の心配はないとのことです。

野菜や水道水については、市独自に調査するよう、市議団として今後も要請していきます。

避難者の受け入れについて

楓ヶ原会館を受け入れ場所としています。風呂はありますが、台所は狭いので、生活福祉課から差し入れなど行いました。

利用していた避難者（一世帯）は、アパートに移ったため、現在利用している人はいないそうです。

受け入れは4月末まで延長となりました。

その他

防災無線については、試験放送の実施や、市民からの聞こえないという申し出を受け、業者に調査させています。調査結果を見ながら改善策を検討するとのことです。聞こえない地域の方は申し出てください。

(市役所 地域防災課 558-1111)